

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和6年2月15日

独立行政法人水資源機構

木曾川用水総合管理所長 本田 毅

(公印省略)

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、木曾川用水総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争(指名競争)参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」(平成6年5月31日付け6経契第443号)に基づき、木曾川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、調査項目毎に必要な技術者の人員数を記載し、提出してください。
なお、歩掛参考見積書の様式は問いません。
- (2) 見積有効期限は「令和6年12月31日まで」としてください。
なお、これにより難しい場合は、任意の期限とし、理由を明記してください。
- (3) 参考見積書の宛名は「独立行政法人水資源機構 木曾川用水総合管理所長 宛」としてください。
- (4) 提出期間：令和6年2月16日(金)から令和6年3月19日(火)17時00分まで
※ 持参する場合は、上記期間の土日・祝日(振替休日含む)を除く、平日9時00分から17時00分まで
- (5) 提出先：独立行政法人水資源機構 木曾川用水総合管理所 設備課 樋口 宛
〒495-0036 愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1
TEL：0587-97-3710 FAX：0587-97-1482
e-mail：sho_higuchi@water.go.jp

- (6) 提出方法：持参、郵送、FAX又は電子メール（社印があること）により提出してください。

4. 参考見積内容

(1) 業務内容

別添の「揚水機場更新実施設計業務 見積仕様書」のとおりとします。

(2) 業務費の構成と歩掛見積範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(調査等編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。

② 歩掛参考見積の募集範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、別添「見積仕様書」の業務内容を実施するために必要な技術者の人数を募集します。

③ 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

参考見積依頼書及び見積内容に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和6年2月16日（金）から令和6年3月1日（金）17時00分まで

※ 持参する場合は、上記期間の土日・祝日（振替休日含む）を除く、平日9時00分から17時00分まで

- (2) 提出先：3.(5)に同じ。

- (3) 提出方法：3.(6)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、令和6年3月7日（木）までに書面により回答します。

7. 参考見積書の作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリングの実施について

提出していただいた参考見積書について、ヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するも

のではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

－ 以 上 －

揚水機場更新実施設計業務

見 積 仕 様 書

令和 6 年 2 月

独立行政法人水資源機構

木曾川用水総合管理所

第1章 見積概要

第1節 見積概要

本見積もりは、第2章 業務内容に示す業務するのに必要な設計部係を見積もるものである。

第2節 見積範囲

2-1 業務概要

見積もり対象の業務概要は、末広揚水機場、稲山揚水機場のポンプ設備（主ポンプ駆動設備、系統機器設備、電源設備、監視操作制御設備、付属設備 1式）更新にあたり実施設計を行う業務である。

2-2 見積範囲

見積もり範囲は、以下のとおりとし、各機場、項目毎に設計に必要な歩掛かりを見積もるものとする。

- ・基本事項
 - ・現地踏査
 - ・検討事項
 - ・設計計算
 - ・施工計画
 - ・設計図
 - ・数量計算
 - ・概算工事費
 - ・照査
- 報告書作成

なお、見積もり範囲外として、打合せ5回（当初1回、中間3回、成果納品時1回）を予定している。

第2章 業務内容

第1節 業務目的

本業務は、設計対象揚水機場の更新にあたり、揚水機場設備仕様等について決定し、その更新を実施するための工事費の積算および工事発注に必要な資料作成を行うものである。

なお、設計にあたっては、設備の安全性、信頼性、経済性、施工性、操作性、維持管理等を考慮して行うものとする。

第2節 設計条件

2-1 設計条件

本業務対象揚水機場の更新にあたっては、既設機場敷地内での更新等を前提としており、大規模な敷地造成を伴わない設備となることを原則として検討、設計するものとする。

また、今後の維持管理に支障が生じないよう設計するものとする。

2-2 設備諸元

本業務対象機場の既設設備諸元は、別紙-1のとおりである。

第3節 業務範囲

本業務の設計範囲は、次のとおりとする。

施設名	設計対象設備	設計内容	数量
末広揚水機場	主ポンプ設備、駆動設備、系統機器設備、電源設備、監視操作制御設備、付属設備	ポンプ設備更新実施設計	1式
稲山揚水機場			

第4節 業務内容

4-1 設計内容

本業務の設計内容は、各対象揚水機場について、現場踏査結果および濃尾第二施設揚水機場更新検討業務（令和4年3月）の検討内容を反映して、ポンプ設備更新にあたっての実施設計を次表のとおり行うものとする。

項目	設計内容
基本事項	(1)設計の目的、主旨、範囲の確認 (2)貸与資料の把握 (3)設備の概要、貸与資料等から設計条件を整理
検討事項	(1)合理的な更新計画の作成 (2)ポンプ形式、設備構成の検討 (3)コスト縮減提案 (4)土木構造物の寸法決定

設計計算	(1)ポンプ仕様、原動機出力の決定 (2)補機、配置の検討 (3)各部応力計算 (4)材質、部材寸法の決定 (5)操作、制御設備および電源設備の検討
施工計画	(1)工事工程計画の作成 (2)施工計画および仮設計画の作成
設計図	(1)一般図（平面図、断面図） (2)ポンプ設備組立図、詳細図 (3)配管系統図、システム系統図 (4)電源設備・操作制御設備配置配線図 (5)電源設備・操作制御設備単線結線図 (6)盤外形図 (7)仮設計画図
数量計算	(1)数量表（集計表、内訳書） (2)機器、電気設備数量表 (3)塗装面積表（集計表、内訳書） (4)撤去数量表 (5)仮設数量表
概算工事費	(1)揚水機場毎の概算工事費の算出

1. 検討事項

- (1) ポンプ設備更新を合理的に実施するため、短期間での施工方法と仮設送水による施工方法を含む複数案を比較検討し、最適な施工方法を選定するものとする。
- (2) ポンプ形式の検討にあたっては、陸上ポンプ及び水中ポンプを含む複数案を比較検討し、最適なポンプ形式を選定するものとする。
- (3) コスト縮減として既設の送水方式と更新後の新たな送水方式について検討するものとする。

2. 設計計算

- (1) 固定用アンカーボルトの設計にあたっては、該当する技術基準等に基づき必要な耐震性能を有することを照査するものとする。
- (2) ポンプ設備の設計にあたっては、維持管理時の点検・整備が容易に行えるよう、機器の構造、配置、維持管理用付属設備について配慮した設計を行うものとする。

3. 施工計画

- (1) 設計にあたっては、既設設備の撤去から更新設備の据付まで、一連の施工を網羅するものとする。
- (2) とりまとめにあたっては、工事に必要となる資機材の規格、台数等も整理するものとする。

4. 数量計算

- (1) 数量計算には、算出根拠となる図面等を添付するものとする。
- (2) 数量表は、表計算ソフト（Excel）によるものとし、納品する電子成果には、計算リンクがされた数量表を納品すること。
- (3) 数量表は、機構の積算基準により工事費算出する際に必要となる数量を算出するものとする。

5. 概算工事費算出

- (1) 受注者は、設計結果に基づき、揚水機場毎の概算工事費を算出するものとする。
- (2) 概算工事費算出は、機構の積算基準に基づき算出するものとする。

4-2 現場踏査

本業務の実施にあたり、対象揚水機場の現地踏査を各揚水機場当たり1回以上実施し、現地踏査結果としてとりまとめを行うものとする。

現地踏査は、分解や機器の運転を伴わない範囲とし、現状の設備構成・構造の確認、搬出入路の確認など本設計業務に必要な現状把握のための踏査とする。

4-3 照査

1. 受注者は、設計成果について、資料に誤りはないか、設計根拠が整理されているか、現場条件が適切に反映されているかについて照査を行うものとする。
また、設計計算、設計図面、数量計算の適切性および整合性に着目し照査を行うものとする。
2. 照査は、業務進捗の適切な時期に実施するものとする。

4-4 報告書作成

受注者は、本業務の成果として報告書のとりまとめを行うものとする。とりまとめにあたっては、設計条件、設計内容および設計結果等、順を追って確認できるようにとりまとめるものとする。

第5節 業務上の留意事項

1. 本業務は、工事発注に必要な設計図書等の資料を作成するものであることを十分理解し、調査職員と緊密な連絡をとり、手戻りのないよう業務の履行にあたらなければならない。
2. 設計の根拠となる基準および貸与資料等の「出典」を報告書に記載するとともに、引用ページの記載および複写を添付するものとする。
3. その他不明な事項について、調査職員との打合せにより決定するものとする。

— 以 上 —

施設名		すえひろ 末広揚水機場	いなやま 稲山揚水機場
所在地		愛知県弥富市東末広 1丁目	愛知県弥富市鍋田町稲山 195-2
施工業者／メンテ業者		南海工業(株) (新日本造機(株)) ／日耕機電(株)	南海工業(株) (新日本造機(株)) ／吉田工機(株)
ポンプ設備	形式	着脱式水中ポンプ	着脱式水中ポンプ
	口径 (mm)	φ 300	φ 400
	揚水量 (m ³ /s/台)	0.157	0.343
	全揚程 (m)	18.0	21.4
	電動機出力 (kW)	45	110
	台数	3	3

揚水機場更新実施設計業務工数表

会社名： _____

(人)

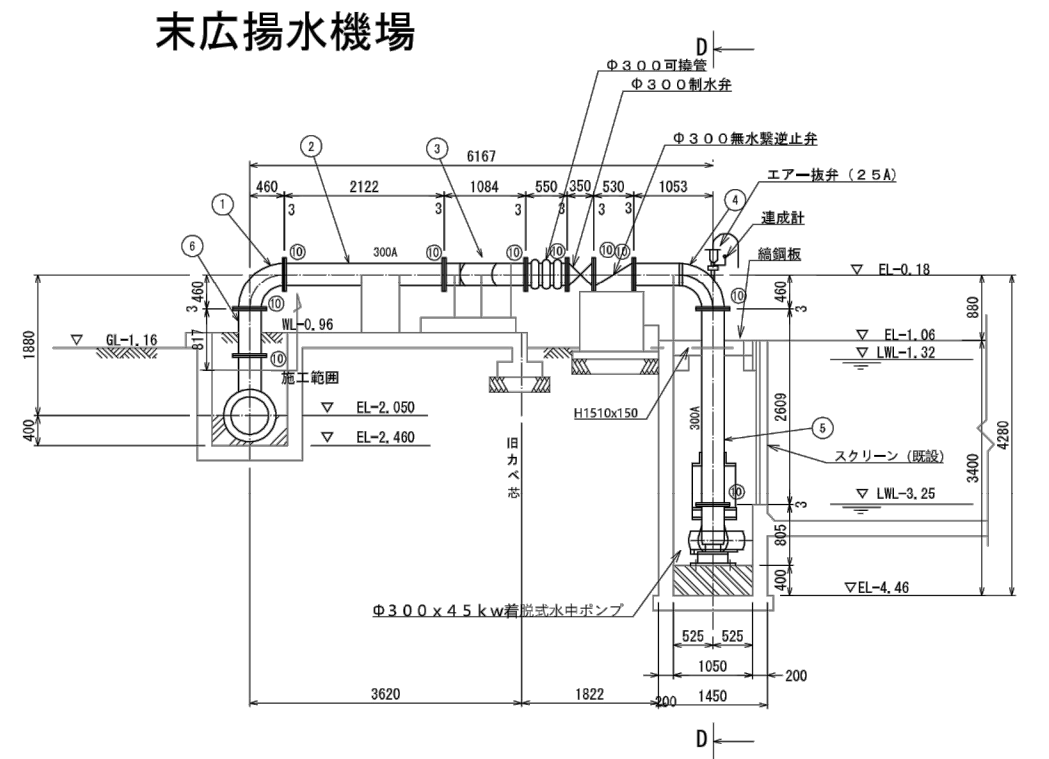
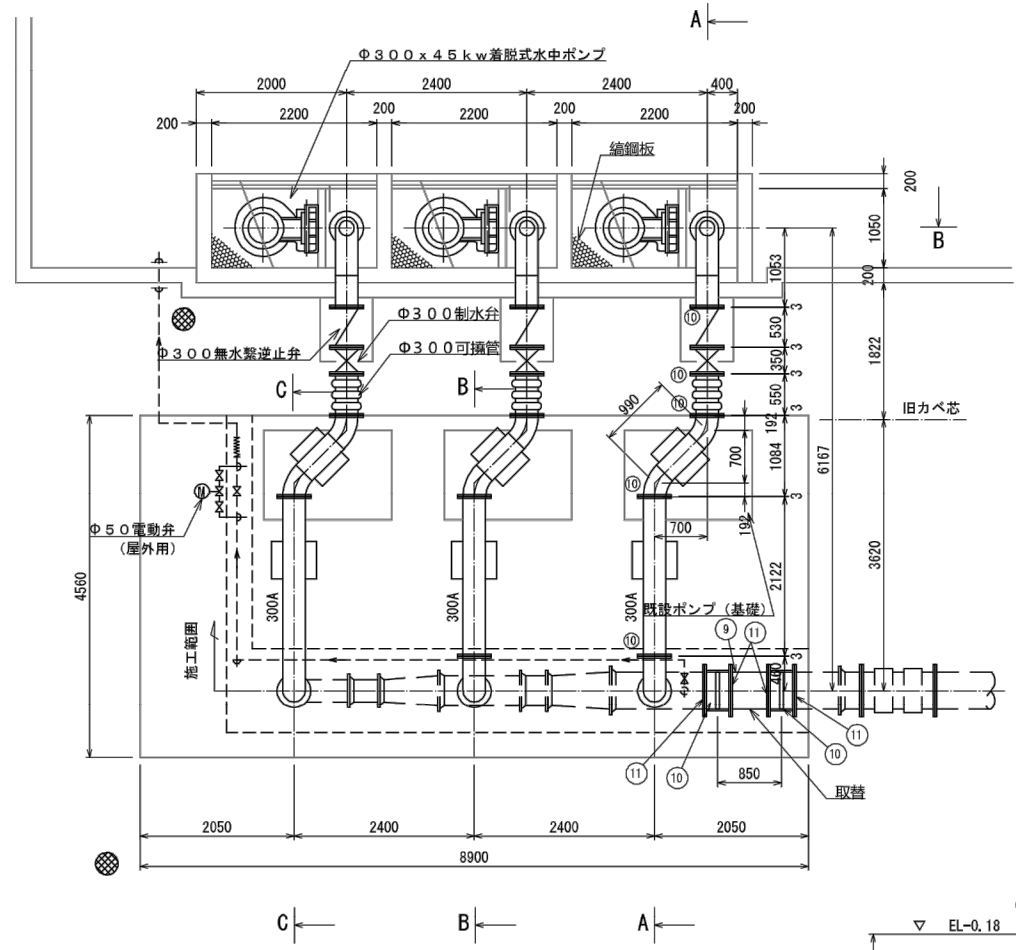
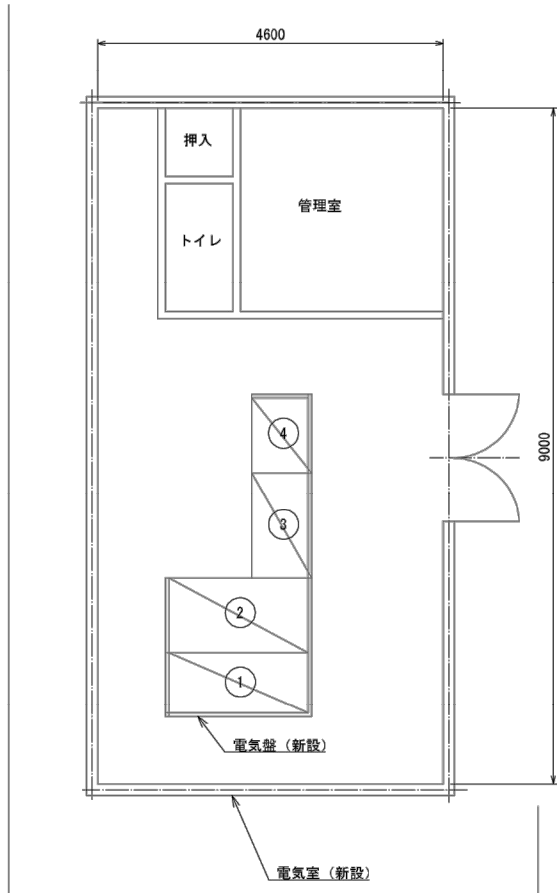
項 目	設 計 内 容	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	計
基 本 事 項	業務計画書の作成 設計の目的、主旨、範囲の確認 貸与資料の把握 設備の概要、貸与資料等から設計条件を整理						
現 地 踏 査	各揚水機場について1回以上の現地踏査						
検 討 事 項	合理的な更新計画の作成 ポンプ形式、設備構成の検討 コスト縮減提案 土木構造物の寸法決定						
設 計 計 算	ポンプ仕様、原動機出力の決定 補機、配置の検討 各部応力計算 材質、部材寸法の決定 操作、制御設備および電源設備の検討						
施 工 計 画	工事工程計画の作成 施工計画および仮設計画の作成						
設 計 図	一般図 (平面図、断面図) ポンプ設備組立図、詳細図 配管系統図、システム系統図 電源設備・操作制御設備配置配線図 電源設備・操作制御設備単線結線図 盤外形図 仮設計画図						
数 量 計 算	数量表 (集計表、内訳書) 機器、電気設備数量表 塗装面積表 (集計表、内訳書) 撤去数量表 仮設数量表						
概算工事費	揚水機場毎の概算工事費の算出						
照 査	業務全般						
報告書作成	上記業務内容のまとめ、設計成果作成						
計							

揚水機場更新実施設計業務

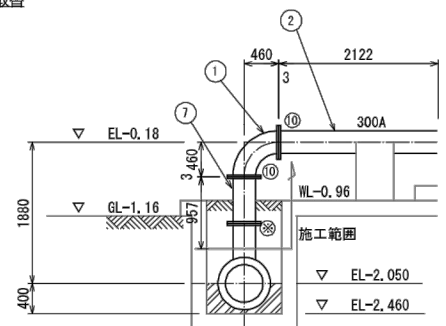
参 考 図

令和6年2月

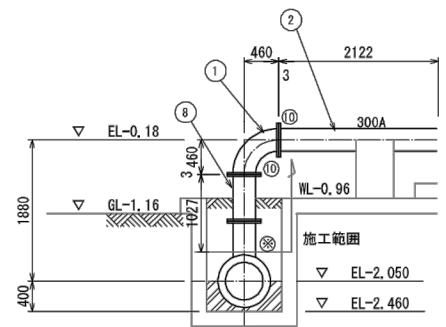
独立行政法人水資源機構
木曾川用水総合管理所



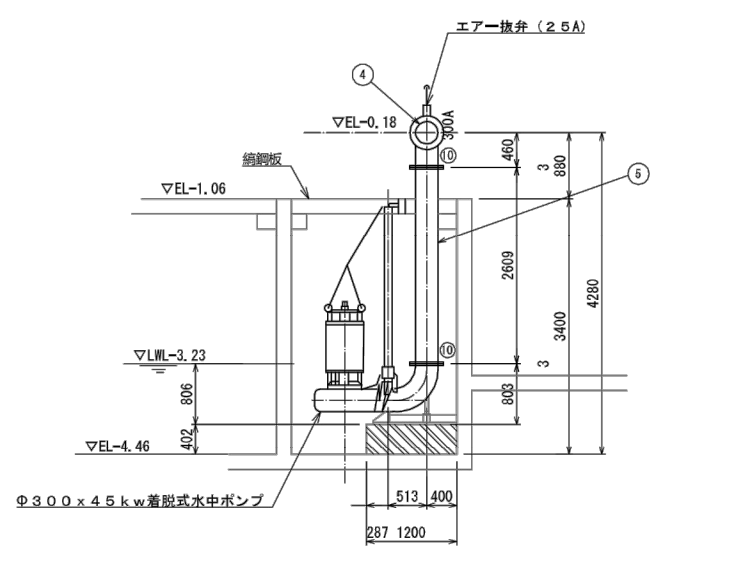
A-A 断面図
S=1/50



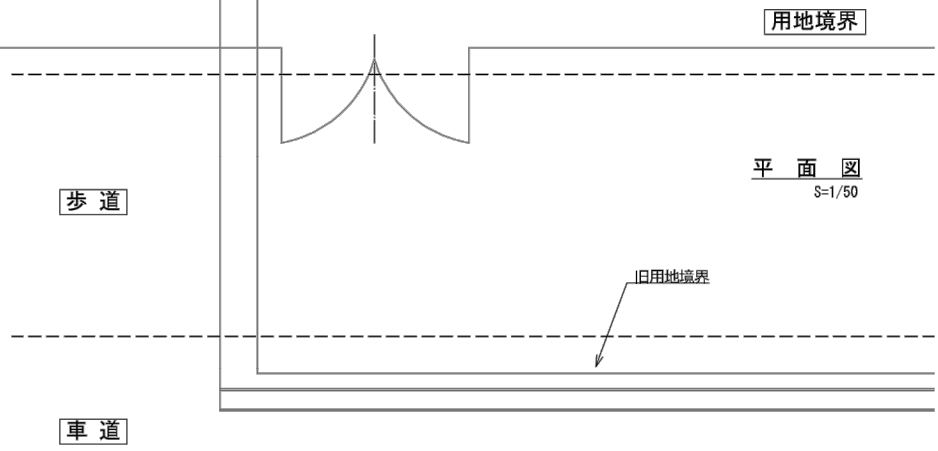
B-B 断面図
S=1/50



C-C 断面図
S=1/50



D-D 断面図
S=1/50



番号	盤名称
①	高圧引込受電盤
②	変圧器盤
③	ポンプ盤
④	補機・計装盤

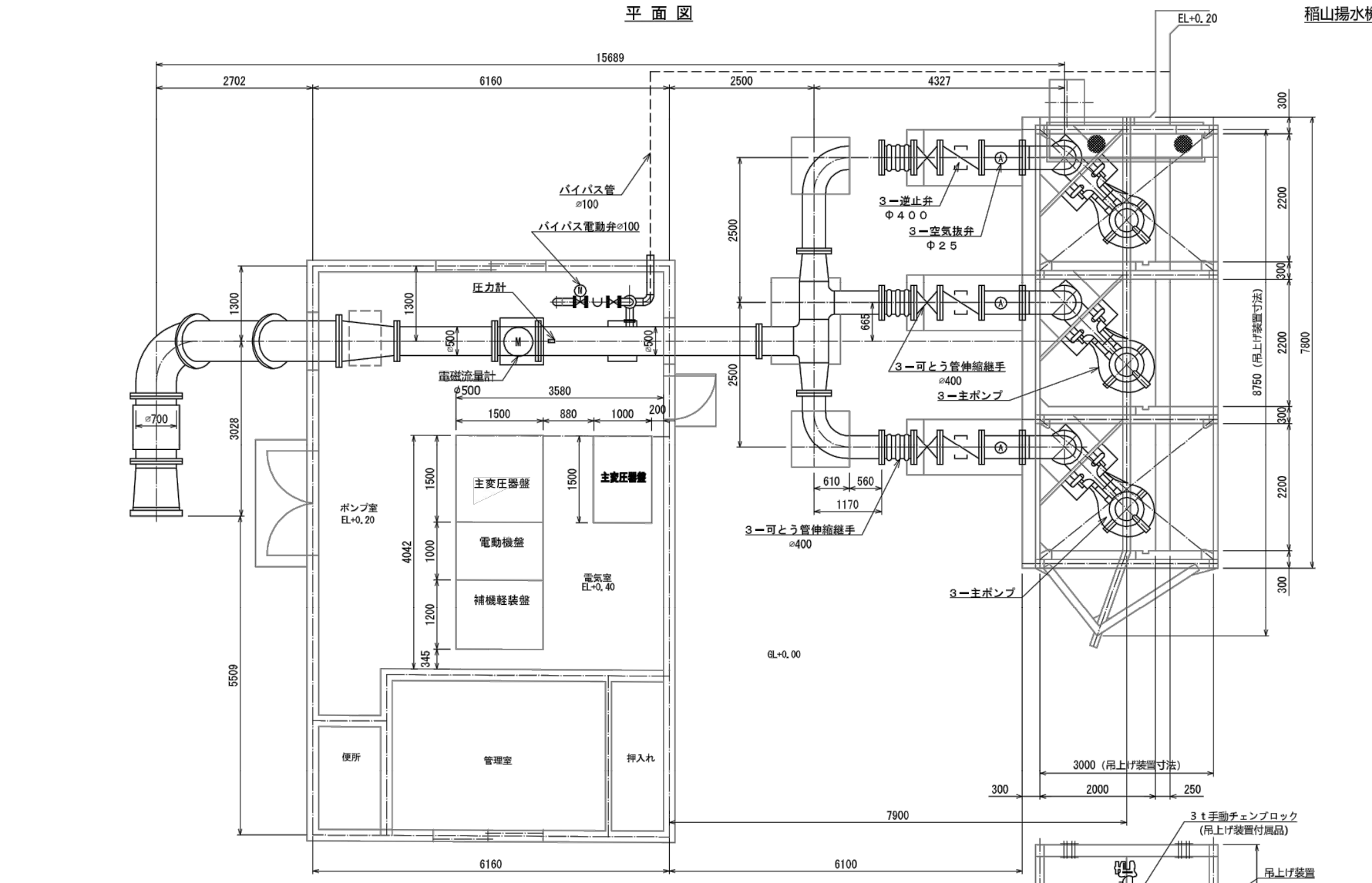
品名	材質	数量
1 300A x 90° x 460L / 460L	量フ曲管	SGP 3
2 300A x 2122L	量フ曲管	" 3
3 300A x 45° x 192L / 192L + 300A x 612L	両フS字管	" 3
4 300A x 90° x 460L / 1053L x 32A	両フ直管	" 3
5 300A x 2609L	片フ直管	" 3
6 300A x 820L (K形3種)	片フ直管	DCIP 1
7 300A x 960L (K形3種)	片フ直管	" 1
8 300A x 1030L (K形3種)	直管	" 1
9 500A x 850L (K形3種)	継輪	" 1
10 500A (K形3種)	押輪	" 2
11 500A (K形3種)	押入	" 4
12 300A (K形3種)	押輪	" 3

業務名	揚水機場更新実施設計業務		
名称	末広揚水機場 据付図		
図面番号	整理番号		
独立行政法人水資源機構 木曾川用水総合管理所			

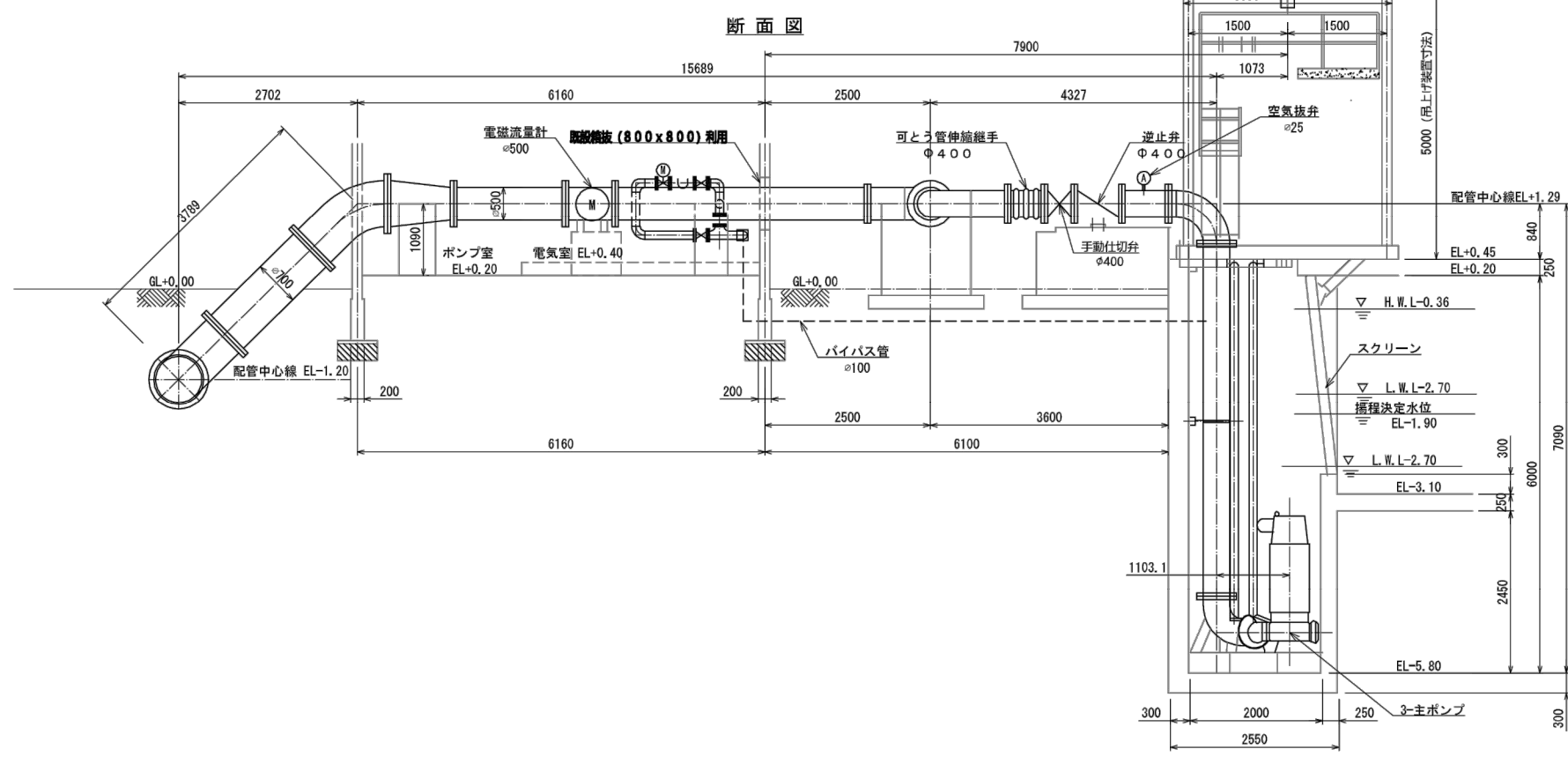
平面図

稲山揚水機場機器配置図

稲山揚水機場



断面図



業務名	揚水機場外更新実施設計業務		
名称	稲山揚水機場 据付図		
図面番号	整理番号		
独立行政法人水資源機構 木曾川用水総合管理所			